



令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 木津川市立山城中学校 】

1 実践テーマ	【 I・III 】
2 実施対象者	木津川市立山城中学校 3年生（男子39名、女子32名）計71名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（車椅子バスケットボール体験学習） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人との交流を通して、障がいに対する理解や他者へを深め、共生社会を作っていくこととする姿勢を養う。 ・障がいのある人と共にスポーツを行い、スポーツが多くの人々を結びつける力があることを知る。 ・パラスポーツへの理解を深め、オリンピックだけではなく、パラリンピックへの関心を高める。
5 取組内容	<p>1 車椅子バスケットボール体験学習</p> <p>(1) 日時 令和元年7月2日（火）</p> <p>(2) 講師 阪根 泰子氏（元アテネパラリンピック日本代表選手） 他2名</p> <p>(3) 対象 第3学年生徒、保護者</p> <p>(4) 内容 ア、パラリンピックに関する学習 イ、車椅子バスケットボールに関する学習 ウ、講師の先生方の体験談を元にしたお話 エ、車椅子バスケットボールの体験</p>
	 



2 障害者スポーツを通しての学習

12月の人権週間に、国際パラリンピック委員会公認教材である「I'm POSSIBLE」を参考にし、パラリンピックの歴史や意義、4つの価値について学習した。また、他にもDVDを活用し、障害者理解学習を深めた。

6 主な成果

元アテネパラリンピック日本代表選手などパラリンピックに出場した選手と実際にゲームを行ったり、体験談を聞いたりしたことで、障害の有無に関係なくスポーツを楽しむこと、目標を持って行動することの大切さに変わりはないことなどを肌で感じることができた。

障害者スポーツの世界を知り、パラリンピックの価値を学習して、共生社会実現のために、具体的にどのような視点を持ってスポーツに関わっていけばいいのかを考えることができた。

また、障害者となることになったいきさつや生き立ちなど、さまざまな体験を聞くことで、障害がある方々の立場になって想像したり考えたりすることができた。そして、そのことが障害者理解を深めることに大変効果的であった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

- 体験学習をより効果的に行うため、指導者の推薦する競技用車椅子を借り受け、「車椅子バスケットボール」の特徴や特性、技能について深く学べるように配慮した。

- 事前に、パラスポーツについて知っていることやイメージを聞き、当日の学習への意識を高めることができた。

- 参加者全員が、ゲーム形式で体験することができるように時間を工夫して取り組めた。

8 主な課題等

- 講演や体験学習の開催については、周知を徹底し、一人でも多くの保護者・地域住民の参加が得られるように啓発活動を工夫する必要がある。

- 生徒たちで進行を行ったり、質問事項を考えたりするなど、生徒たちが主体的に取り組めるように工夫したい。

9 来年度以降の実施予定

「車椅子バスケットボール」体験学習については、来年度以降も継続して実施する予定である。